

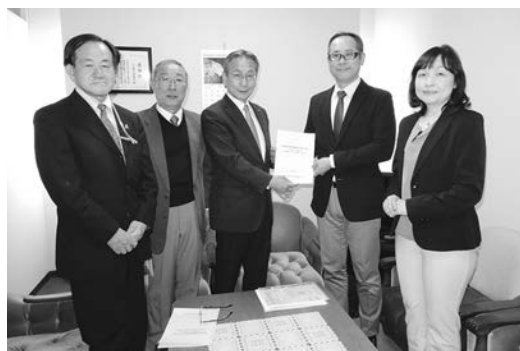
社会教育委員の会議から

「だれもが主役のまちづくり
〜人がつながりあう
『地域力』が、あきる野の
香りがする『あきる野っ子』
を育てる〜」の
提言書が提出されました

第11期社会教育委員の会議では、あきる野市が重点施策として取り組んでいる教育・子育て支援を軸とし、第8期から綿々と紡がれてきた子どもたちの健全育成と地域や大人の役割に関する提言を受け、近年叫ばれている地域や家庭における現状と課題を調査しました。その中で、わがまちの可能性を再確認し、地域で子どもたちを育てる「郷育」の実現に向けた一歩につなげることにしました。

具体的な一歩を考えるにあたり、市制施行20周年の際、子どもたちの声を集め、策定された「みんなのふるさとのまち・あきる野」子ども宣言に着目しました。学校、家庭の中の大人だけが子どもにとっての大人ではなく、宣言にある「他者のために、他者と共に」つながり合い活動できる地域の大人が、子どもたちの目指す「公（おおやけ）」の大人ではないかと考えました。

提言書の中では、「子どもの成長に関する地域の役割と現状」「子どもの成長に関する家庭の役割と現状」を研究し、あ



きる野っ子を育てる「郷育」の実現に向けて、地域の中で顔見知りが増え、人と人が繋がり、地域や家庭で信頼関係を芽生えさせるものとして、「あいさつ」を取り上げ、市内の小中学校において展開されている「あいさつ」運動を中心に、地域全体で「あいさつ」が広く普及されることを強く提言しています。

近年、一般的には地域行事への参加の減少などといった地域の繋がりがへの希薄化や家庭における親と子どもの関係が薄れ、子どもとの触れ合う時間が少なくなるなど、家庭の教育力が低下してきているなどと言われています。

そのような中でも、あきる野市においては、地域や人々とながら合おうとする気持ちが多くなっている中にもあります。そしてこれが、あきる野市の魅力で

あると考えました。人と人とが織りなす信頼関係、共に生きて行こうとする共助の意識、地域課題を解決する自発的な組織の運動などの「地域力」がこのあきる野にあることに目を向ける必要があります。地域に生きる高齢者による経験や知識を地域の文化や伝統として伝承することから創出される地域価値や地域教育こそがあきる野の香りのするあきる野っ子を育て、つなげていくことを考え、この提言書にまとめられています。

○提言閲覧場所

市ホームページ、各図書館

「社会教育委員の活動」

社会教育委員は、学校教育や社会教育の関係者、家庭教育の向上を図る活動を行っている方、学識経験のある方により組織され、社会教育に関して教育委員会に助言すること等を目的として、社会教育法の規定に基づき設置されています。

社会教育委員の会議は、これまで2年間の任期ごとに社会教育行政に関する課題を取り上げて調査・研究を行い、教育委員会に提言を行ってきており、今回の提言は本年4月末で任期が満了となった第11期の社会教育委員の方々によるものです。

放課後子ども教室

「見守りボランティア」

募集!

子ども達の活動の見守りをしてみませんか?

【放課後子ども教室とは】

子どもたちが安全で安心して放課後の活動場所を提供する事業です。学校の施設等を利用し、地域の方などにご協力をいただきながら実施します。

【ボランティア内容は】

運営スタッフを配置し、当日の運営や安全管理を行います。ボランティアの方は、遊びや学びの手助けをしながら子どもたちを見守っていただきます。参加は、毎回ではなくご都合の良い日(時間)で大丈夫です。

【活動場所】

東秋留小学校・多西小学校・西秋留小学校・草花小学校・五日市小学校

【活動日時】

毎週水曜日放課後から午後4時まで

○登録・問合せ先

教育部生涯学習推進課生涯学習係



大規模地震対応訓練を 実施しました

教育委員会では、大規模地震発生時に児童・生徒及び教職員の安全確保を速やかに且つ確実に行うために、市立小中学校全校と共同した大規模地震対応訓練を5月9日に実施しました。

訓練内容は、耐震訓練・初期対応訓練・引渡し訓練・給食訓練に加え、教育委員会と学校間の情報を共有するための通信訓練も併せて行いました。

中でも、引渡し訓練は、各学校に登録している緊急時児童・生徒引き取り者の方々(保護者等)のご協力により、実践さながらの訓練を実施することができました。

今後もこのような訓練を継続し、災害に強い学校づくりを推進していきます。

広報紙「一房のぶどう」に対する感想をお寄せください

今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。

問合せ：教育総務課教育総務係

☎558-2406 (直通)

電子メール：

110101@akiruno-info.tokyo.jp